

令和3年度データサイエンスリテラシー

自己点検・評価報告書

1. 教育プログラムの履修・修得状況、学習成果について

データサイエンスリテラシーのカリキュラムは、次のように構成されている。

- 入門科目群の教育内容：データサイエンスが必要とされている社会背景、データの種類、基本的なデータ処理方法やデータを扱う者が守るべき倫理事項などの講義、及びまた、Pythonによる演習を行うことで、基本的なデータ処理方法の演習
- 統計科目群または数学科目群の教育内容：データサイエンスを活用するために必要な統計学や数学の基礎知識に関する講義
- 情報概論科目群の教育内容：データサイエンスを活用する上で必要な情報システムやデータ通信に関する基礎知識に関する講義
- 情報処理演習科目群またはプログラミング基礎科目群の教育内容：Pythonや表計算ソフトの活用を中心としたデータサイエンスに必要な情報処理技術に関する講義と演習

以上より、データサイエンスリテラシーの教育内容は、社会でデータサイエンスを活用するために必要な基礎知識・技術に関する教育を含んでいるものと判断する。可能であれば、この教育プログラムに社会や企業で取り組まれている事例に近いデータサイエンスの演習を実施していただきたい。

2. 学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度について**<点検・評価結果>**

本プログラムの構成科目ごとには授業評価アンケートを実施しているが、本プログラムの教育カリキュラム全体に対する学生アンケートを実施していない。このため、早急、本プログラムのカリキュラムに対する学生アンケートを実施する体制の整備が必要である。

<改善への取組>

令和4年度内に本プログラム修了者に対するカリキュラム評価アンケートを実施する体制を整備する。

3. 全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況**<点検・評価結果>**

本プログラムは令和2年度に開設され、構成科目には2年次以上対象の科目も含まれているため、令和3年度の修了者はまだ少ない状況である。今年度は本プログラム開設から3年目になるため、これまでより多くの学生が修了するものと予想される。

<改善への取組>

令和4年度から全学部で本プログラムの入門科目が必修となるため、これまでより多くの学生が本プログラムを履修するものと予想できる。本プログラムの履修者数増加に向けて、ガイダンス等を通して本プログラムに教育内容を学生に周知するだけでなく、大学の教員にも本プログラムの周知する取り組みが必要である。

令和4年5月20日

新潟大学における情報活用及び数理・データサイエンス教育
に関する検討ワーキング・グループ